

令和5年度 船橋の台所事情



船橋市の**予算**を
わかりやすく説明します



もくじ

予算の基礎知識	3
一般会計歳出	5
一般会計歳入	8
市民生活に身近な予算の内訳	10
船橋市の家計簿	11
船橋市の財政状況	12
特定目的基金の紹介	19
令和5年度予算の主要事業	21

予算の基礎知識

「予算」とはなに？

1年間のお金の使い道、それが予算です。

市では、お金の使い道を毎年4月から翌年の3月までの年度単位で考えます。

この1年間に市に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内で市が行っているいろいろな仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）にどのくらいのお金を使うかという支出の計画を立てます。これを「予算」といい、市の仕事は、この予算に従って行われます。

予算はどのように決めるの？

収 入

市民の皆さんに納めていただく税金、公民館やスポーツ施設などの使用料、国や県からの補助金などがどのくらい入ってくるのかという見積もりをします。

支 出

日頃、市民の皆さんから寄せられる意見や要望も取り入れながら、次年度の仕事の予定を立て、その仕事に必要な金額を見積もります。見積もった収入ですべての仕事ができればいいのですが、とても収入の範囲には収まりません。

そこで、市民生活を守るために緊急性や必要性がどうかどうか検討し、優先度が高いと判断したものについて、第三次総合計画との整合を図りながら次年度に行う仕事を決め、予算案を作成します。

お金の使い道を決めることはとても大切なので、市民の代表で構成される市議会で審議してもらい、議決を受けてはじめて予算が決まります。

市役所の作業	予算編成方針	8月
	予算要求	10月
	市長査定	1月下旬

予算案提出

市議会の審議	予算案審議	2月下旬
	当初予算成立	3月下旬

議 決

決まった予算は変えられないの？

4月から翌年の3月までの1年間の予算は、3月に市議会での議決を受けて決まります。これを「当初予算」と言います。

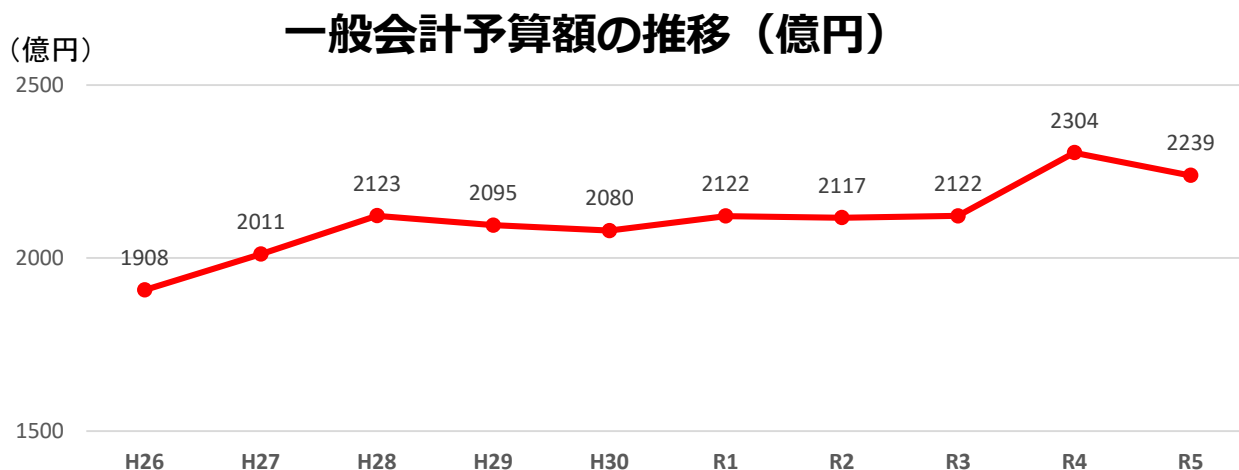
しかし、年度の途中で国が新たな制度を作ったり、台風などの災害が起こったり、社会情勢の変化や想定できなかったことが生じることもあります。

年度の途中でも、その変化や想定外のことに対応するために、追加の予算を作ります。これを「補正予算」と言います。補正予算も当初予算と同じく市議会の議決を受けて決まります。

予算の規模と会計の仕組み

一般会計

市の基本的な仕事（福祉、教育、ごみ処理、道路整備、消防など）を行うための会計です。一般的に市の予算と言えば「一般会計」をさし、市税を主な財源としています。令和5年度の予算規模は、2239億円で前年度比2.8%の減となりました。



特別会計

特定の収入（国民健康保険料、介護保険料など）がある、特定の目的のための予算を経理する会計を「特別会計」と言います。

お金の出し入れをわかりやすくするために一般会計と財布を分けて管理します。

区分		令和5年度予算額
特別会計	国民健康保険事業	519億1400万円
	公共用地先行取得事業	1億8400万円
	船橋駅南口市街地再開発事業	6億8200万円
	介護保険事業	472億2400万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億1100万円
	後期高齢者医療事業	91億4800万円
	計	1092億6300万円

公営企業会計

市が企業的性格を持った事業（市場、病院、下水道）を経営するための予算を経理する会計を「公営企業会計」と言います。事業の収入を主な財源としています。

特別会計と同様にお金の出し入れをわかりやすくするために、一般会計や特別会計と財布を分けて管理します。

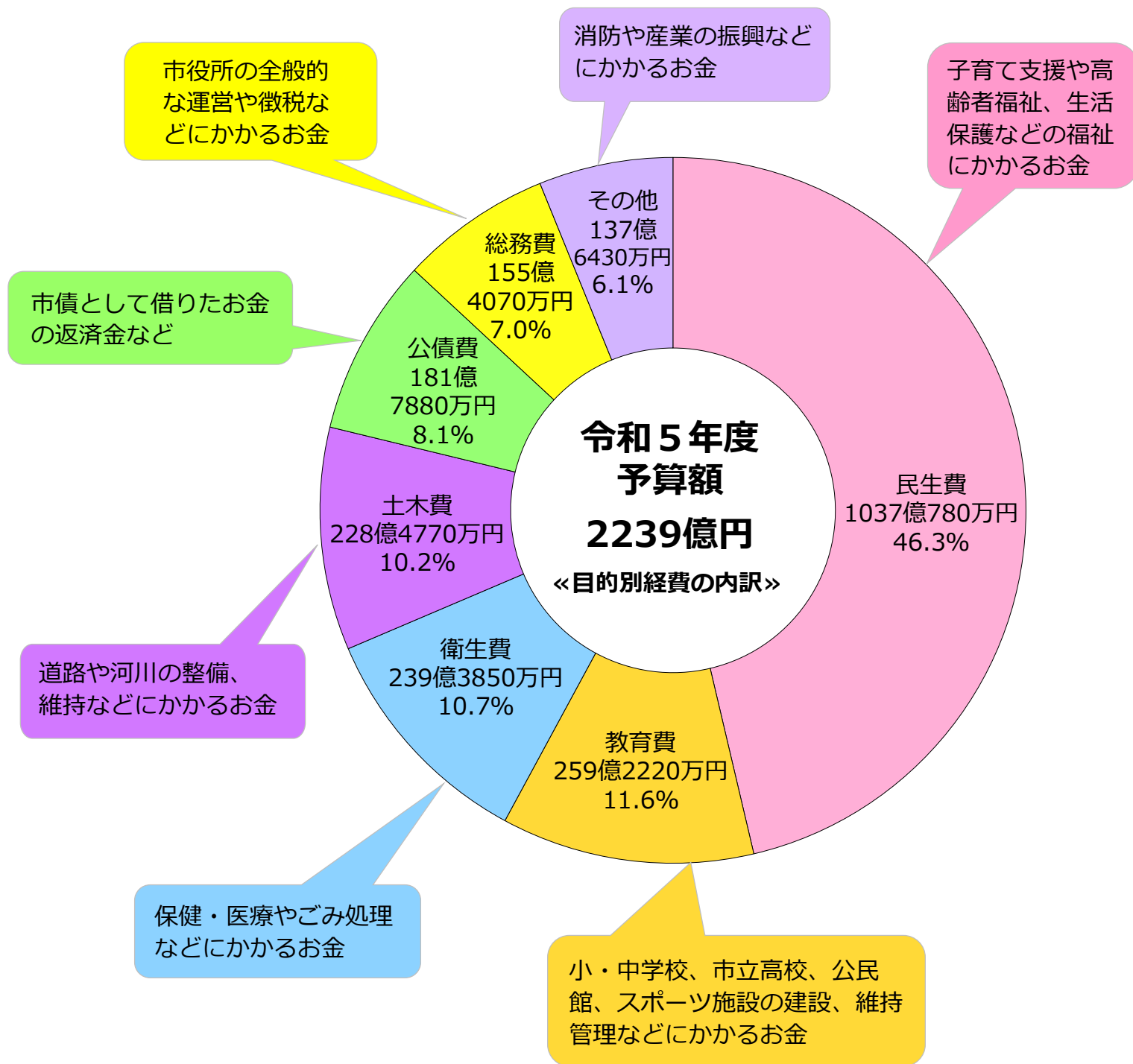
区分		令和5年度予算額
公営企業会計	地方卸売市場事業	15億7700万円
	病院事業	281億1000万円
	下水道事業	365億1040万円
	計	661億9740万円

一般会計歳出

市の支出にはどんなものがあるの？

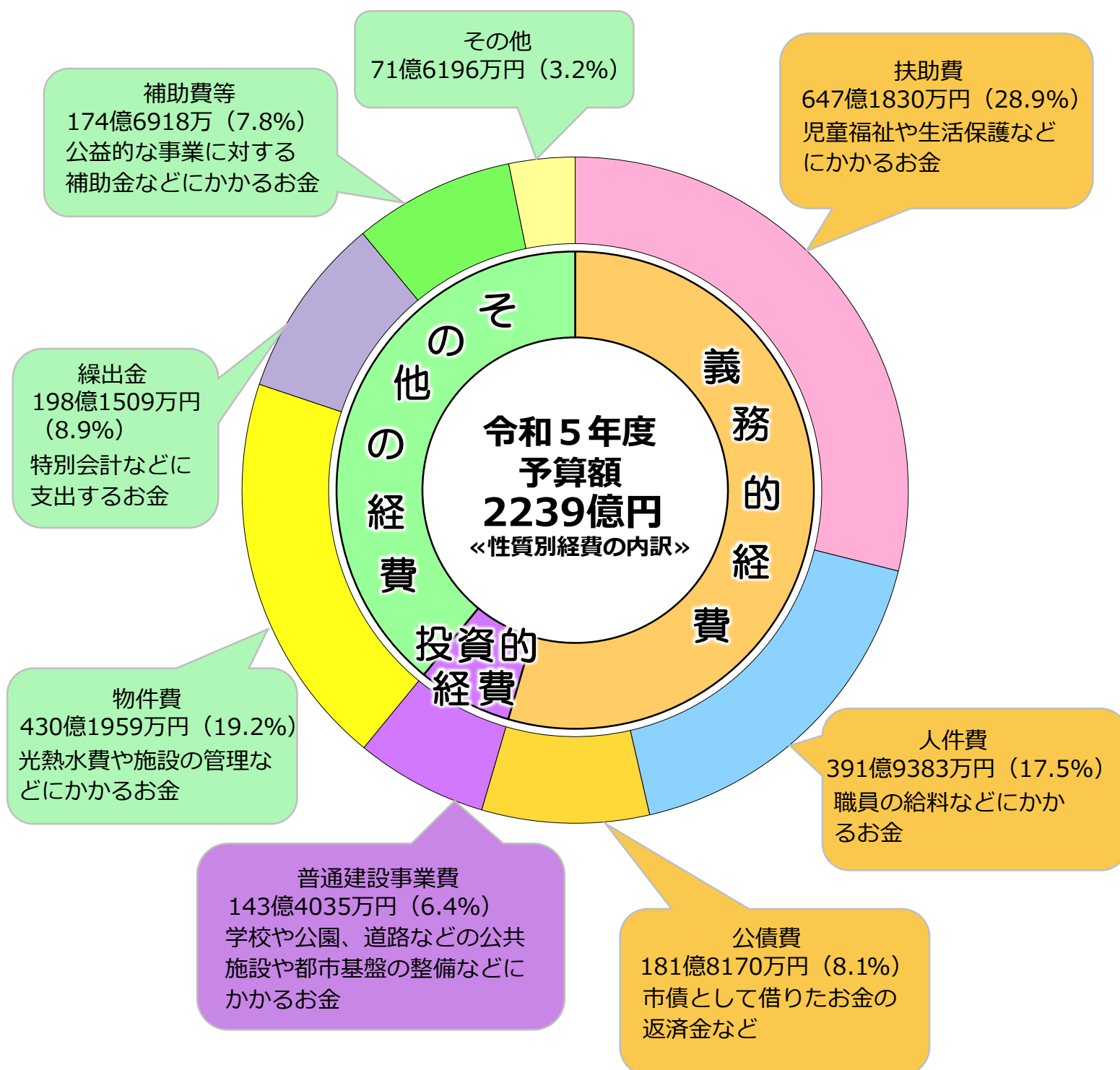
目的別経費による内訳

市の歳出（1年間の市の支出）を経費の目的に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



性質別経費による内訳

市の歳出を経費の性質に着目して分類すると、下のグラフのようになります。



義務的経費・投資的経費とは…

義務的経費・・・法令などにより支払いが義務付けられていて、減らすことが難しい経費

投資的経費・・・道路、橋、公園、学校などの建設や大規模な修繕などの経費

性質別経費の推移

予算額を10年前と比較すると歳出全体で447億円も増えています。そのうち最も増加額の大きい義務的経費である扶助費は、保育所にかかる経費や障害者福祉費などの社会保障経費の増加により、10年前に比べ約188億円増加しています。

一般会計 歳出予算額の推移（性質別）



一般会計歳入

市の収入にはどんなものがあるの？

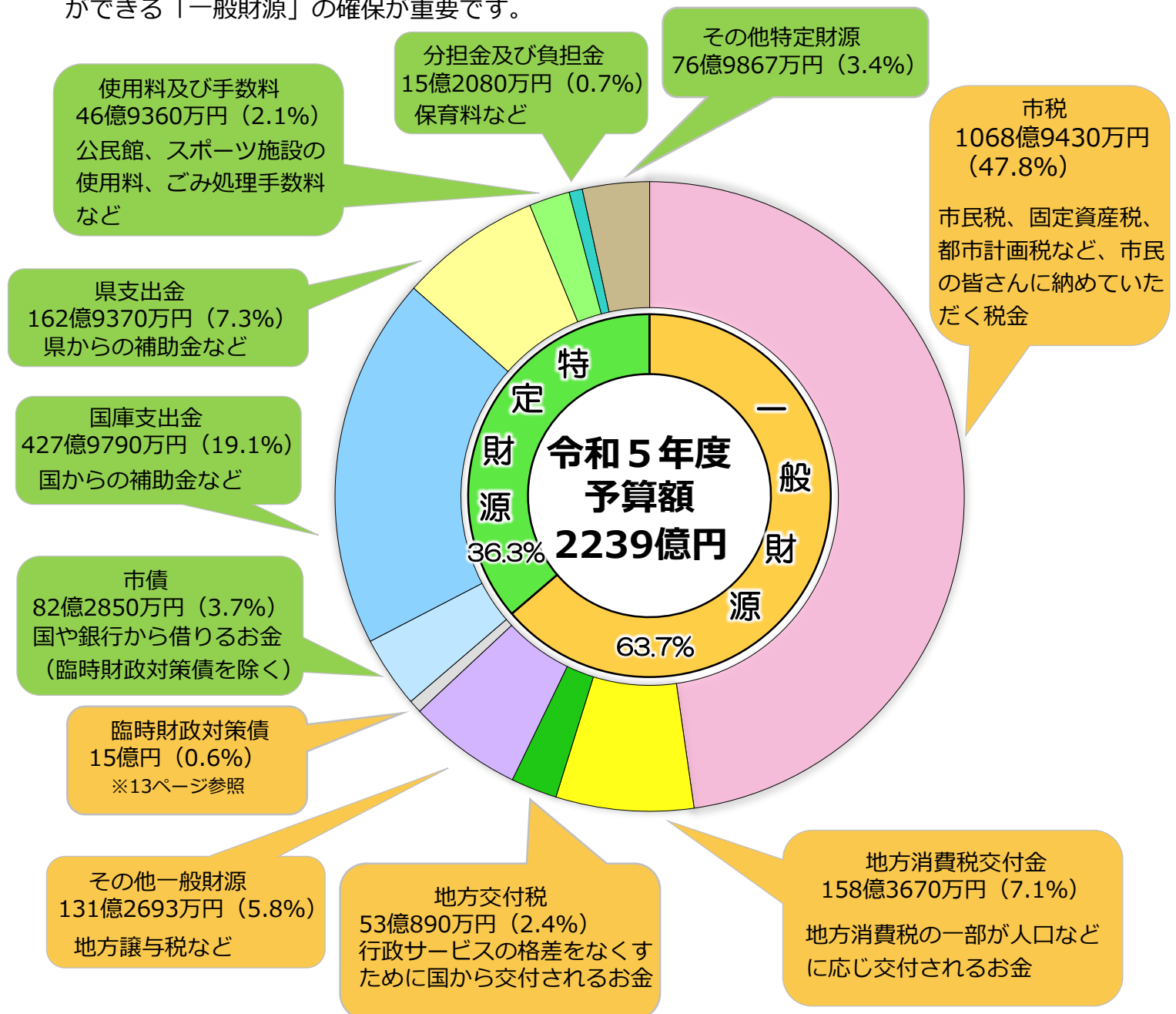
市の歳入（1年間の市の収入）のうち、最も大きいものは「市税」です。また、国や県からもらう「国庫支出金」や「県支出金」、借入金である「市債」などがあります。

これらの収入は、使い道が自由な「一般財源」と使い道が決められている「特定財源」に分けられます。

一般財源は、市が受け取る時点で使い道があらかじめ決まっていないお金のことです。市税や地方交付税などです。

特定財源は、市が受け取る時点で使い道が決められているお金のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金や、公共施設の改修工事などに使うため、国や銀行から借りる市債などです。

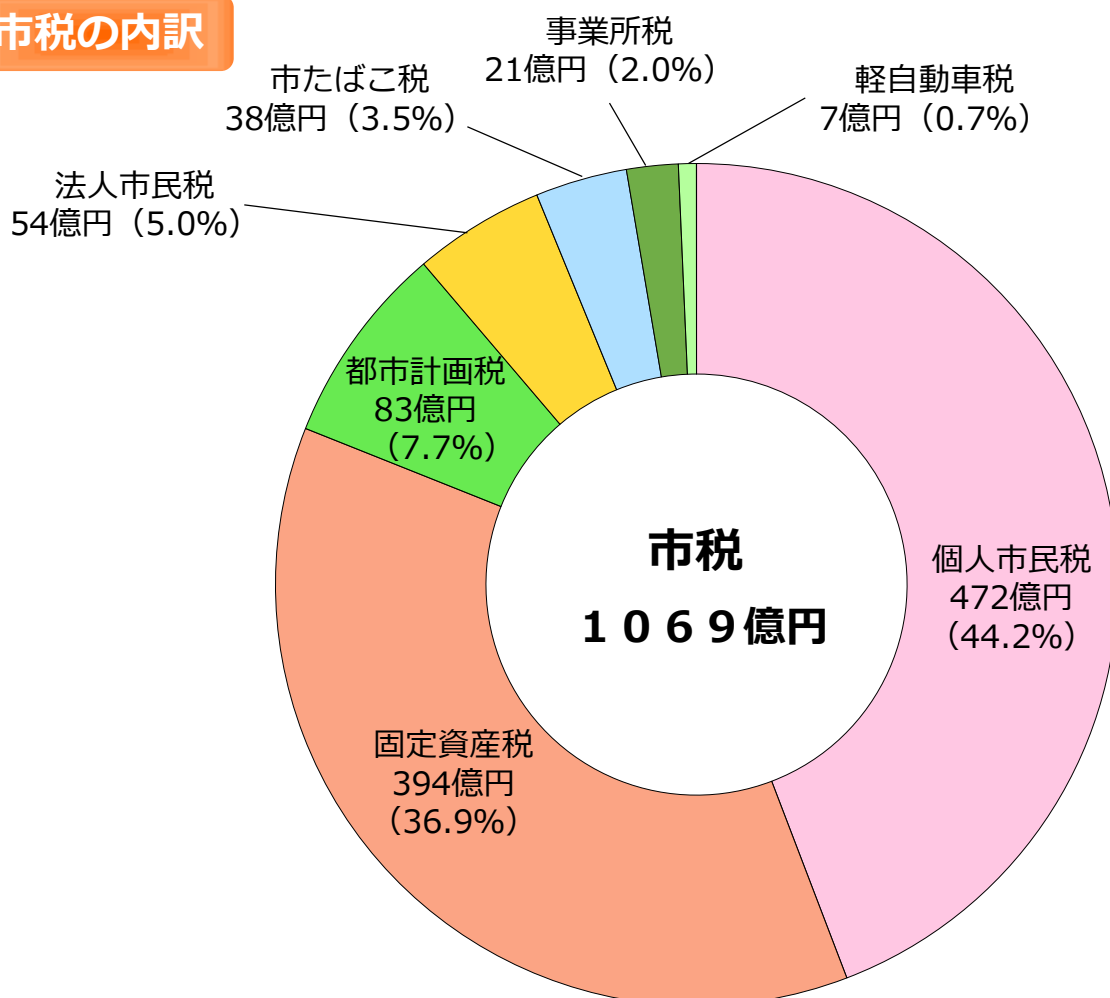
市民の皆さんの様々なニーズにお応えする仕事を行うためには、使い道を自由に決めることができる「一般財源」の確保が重要です。



市税の概要

市税は、市の歳入の約半分を占めています。その内訳は、「個人市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。市税の中では、景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから比較的変動の少ない歳入構造が本市の特徴です。

市税の内訳



個人市民税 市民の皆さんに納めていただく税金

固定資産税 土地・家屋・償却資産（事業用の機械など）にかかる税金

都市計画税 下水道・道路などを整備する都市計画事業の費用に充てるための税金

法人市民税 市内に事業所等がある法人に納めていただく税金

市たばこ税 たばこの製造業者などが市内の小売販売者に売り渡した「たばこ」にかかる税金

事業所税 都市環境の整備等の費用に充てるため事業所等に納めていただく税金

軽自動車税 軽自動車や原付バイクなどにかかる税金

市民生活に身近な予算の内訳

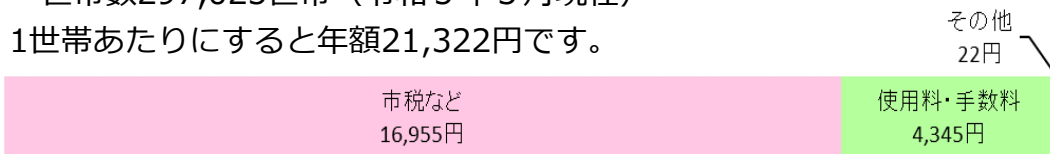
皆さんが納める税金や国や県からの補助金がどんな事業にどのくらい使われているかを市民生活に身近な予算を例に紹介します。

①ごみの収集・処理にかかる予算

ごみの収集や焼却にかかる人件費や清掃工場の運営費などで年間63億円かかります。

世帯数297,025世帯（令和5年3月現在）

1世帯あたりにすると年額21,322円です。

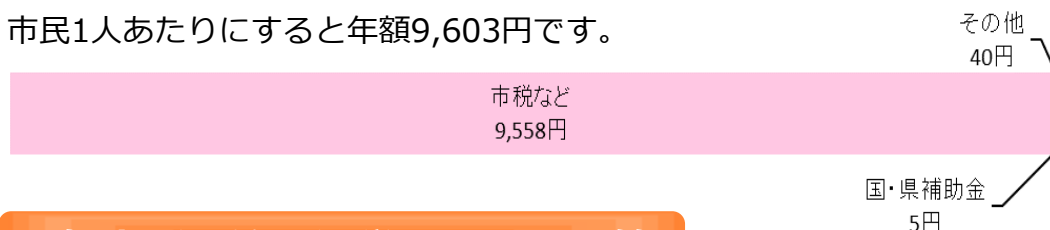


②消防・救急にかかる予算

消防活動や救急活動にかかる人件費や消防車両の維持費などで年間62億円かかります。

人口645,277人（令和5年3月現在）

市民1人あたりにすると年額9,603円です。



③保育所の管理運営にかかる予算

認可保育所の管理運営にかかる人件費や施設の維持費などで年間206億円かかります。

入所児童数12,277人（令和5年推計）

入所児童1人あたりにすると年額1,681,583円です。

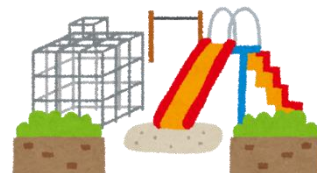
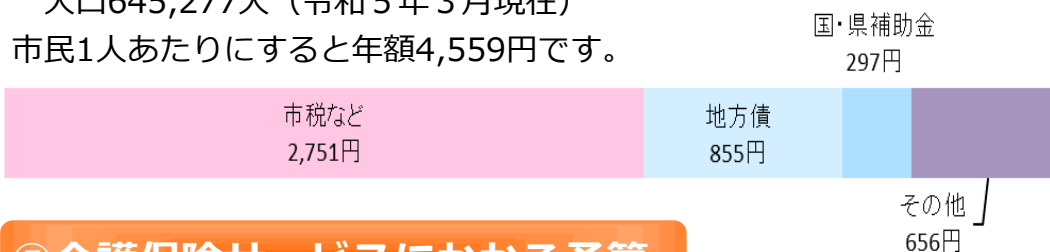


④公園の整備・維持管理にかかる予算

公園の整備や維持管理にかかる費用などで年間29億円かかります。

人口645,277人（令和5年3月現在）

市民1人あたりにすると年額4,559円です。



⑤介護保険サービスにかかる予算

介護サービス・介護予防の実施等にかかる費用などで年間472億円かかります。

要介護・要支援認定者数31,588人（令和5年推計）

対象者1人あたりにすると年額1,494,998円です。



船橋市の家計簿

市の予算額（一般会計）は、2239億円と非常に大きいため、額を縮小して市の予算を家計簿に置き換えてみました。給与年収443万円（※）（給与月収369,000円）であらわしています。

毎月の収入	毎月の支出
給 与 369,000円 (うち基本給〈市税〉: 208,000円) (うち諸手当〈地方譲与税、地方消費税交付金、国・県支出金など〉: 161,000円)	食 費 76,000円 人件費
家 賃 収 入 38,000円 分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など	医 療 費 など 126,000円 扶助費
親からの仕送り 10,000円 地方交付税	光 熱 水 費 や 電 話 代 などの 生 活 費 132,000円 物件費、補助費等、維持補修費など
借 入 金 19,000円 市債 (うち増改築のローン: 16,000円) (うち生活費など〈臨時財政対策債〉: 3,000円)	子 ども へ の 仕 送 り 39,000円 他会計への繰出金
	家 の 増 改 築 費 28,000円 普通建設事業
	ロ ー ン (借 金) の 返 済 35,000円 公債費
合 計 436,000円	合 計 436,000円

※年収443万円は、国税庁が調査した令和3年分民間給与実態統計調査の平均給与額

船橋市の財政状況

市の貯金、借金などの状況や、市の財政の健全化を図る指標を他市との比較を交え説明します。

船橋の財政状況はいいの？

平成19年に、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が制定されました。

自治体財政の早期健全化や再生の必要性を判断する「健全化判断比率」として、4つの財政指標があります。

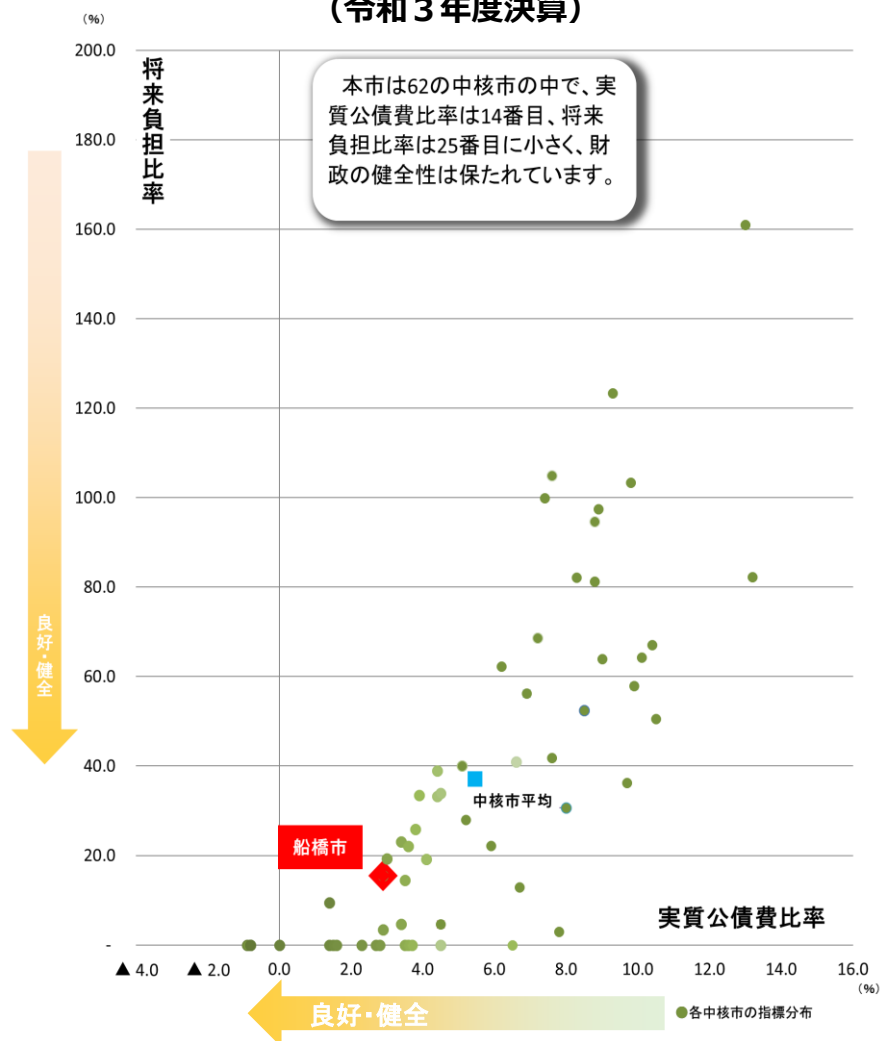
これらの指標のうち1つでも国が定めた基準（早期健全化基準）以上の数値になった場合には、財政健全化計画を策定し、財政状況改善の方策を議会の承認を受けたうえで公表する必要があります。船橋市は現在のところ、いずれの指標もこの基準を下回っています。このうち特に大切な2つの指標を説明します。

健全化判断比率

（令和3年度決算 単位：％）

指標	船橋市	中核市平均	早期健全化基準
実質公債費比率	2.9	5.5	25.0
将来負担比率	15.5	37.0	350.0
実質赤字比率	-	-	11.25
連結実質赤字比率	-	-	16.25

実質公債費比率と将来負担比率における他の中核市との比較 （令和3年度決算）



実質公債費比率

収入に対する公債費の占める割合で数字が小さいほどその年度の借金返済の負担が小さいということです。

令和3年度決算では2.9%となっており、県内54市町村中10番目に小さく、全国の中核市62市中でも14番目の小ささです。

将来負担比率

市の実質的な借金が収入の何年分かを示したもので、数字が小さいほど将来の借金返済の負担が小さいことを示しています。近年は、清掃工場の建替えや塚田南小学校の建設などで、借金の総額が徐々に増えてきたことなどにより令和3年度決算では15.5%となりました。

中核市平均や早期健全化基準と比べまだまだ小さい数値となっており、今後も同程度の数値で推移することが見込まれます。将来の財政需要に備えるため、今後も堅実な財政運営が必要となっていく予定です。

なぜお金を借りるの？

「借金が少ない方が良い」と考えるのは当然ですが、学校や公園などの公共施設の整備には多額の費用が必要です。これらの費用を1年間の予算だけで賄ってしまったら、その1年は他の仕事ができなくなってしまいます。

また、学校や公園などは長い期間たくさんの市民が使いますが、1年間の予算で整備してしまうと、将来の市民は整備費用の負担なしに施設を利用できることになります。

そこで、「市債」という借金をして、1年間の整備費用の負担を小さくし、何年にもわたり返済することで、施設を利用するすべての世代の市民に整備費用を公平に負担してもらうことができます。

市債(借金)を活用しないと・・・公共施設を整備する年度の市民が全額負担し、将来の市民は負担なし



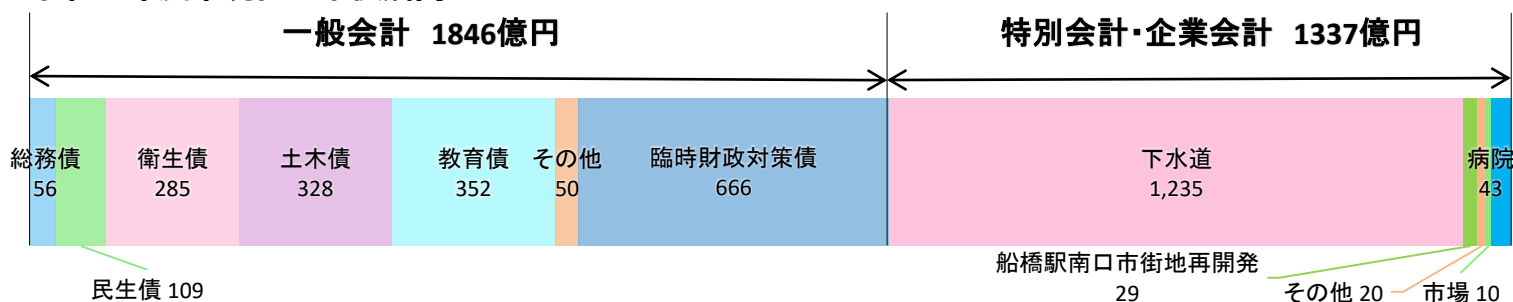
市債(借金)をして・・・将来の市民も整備費用を公平に負担します



今までいくら借りて、何に使ってきたの？

市債の残高は、令和3年度末に、一般会計で1846億円、全会計で3183億円となっています。その使い道は、学校や道路、清掃工場、下水道といった施設の整備や改修が中心です。近年は、小・中学校等の公共施設の大規模改修や清掃工場の建替などに多く使われています。また、「臨時財政対策債」の残高が大きくなっています。

令和3年度末現在 市債残高



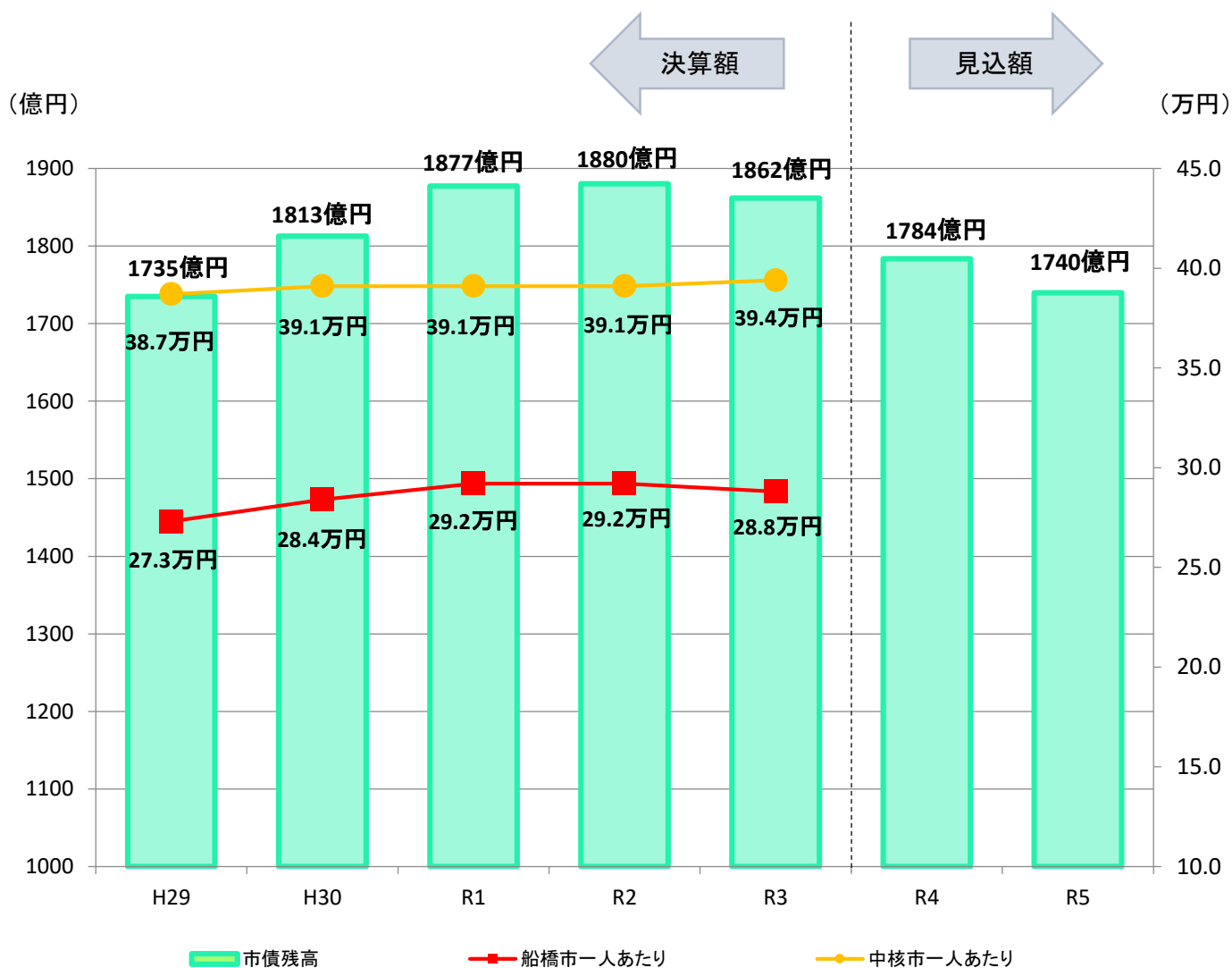
- 総務債……………出張所、防災施設の整備、東葉高速鉄道への出資など
- 民生債……………障害者・老人・児童福祉施設、保育所の整備など
- 衛生債……………清掃工場、保健福祉センターの整備など
- 土木債……………道路、橋りょう、公園、河川の整備など
- 教育債……………小・中学校、高等学校、公民館の整備など
- 臨時財政対策債…国が地方に交付する地方交付税の一部について、市が代わりにする借金で、返済にかかる費用は将来の地方交付税に加算されて交付されます

近年の市債の残高は？

令和3年度末の市債残高は、普通会計で1862億円、人口1人あたりの金額は288,329円となります。これは全国の中核市62市（平均394,409円）の中では18番目に少ない額となります。

近年、小・中学校等の公共施設の大規模改修や清掃工場の建替の財源、臨時財政対策債の発行により増加していましたが、行財政改革推進プランにおいて普通建設事業に優先順位を付けて事業の精査を行ったこと等により、市債残高は令和2年度をピークに今後も減少していく見込みです。

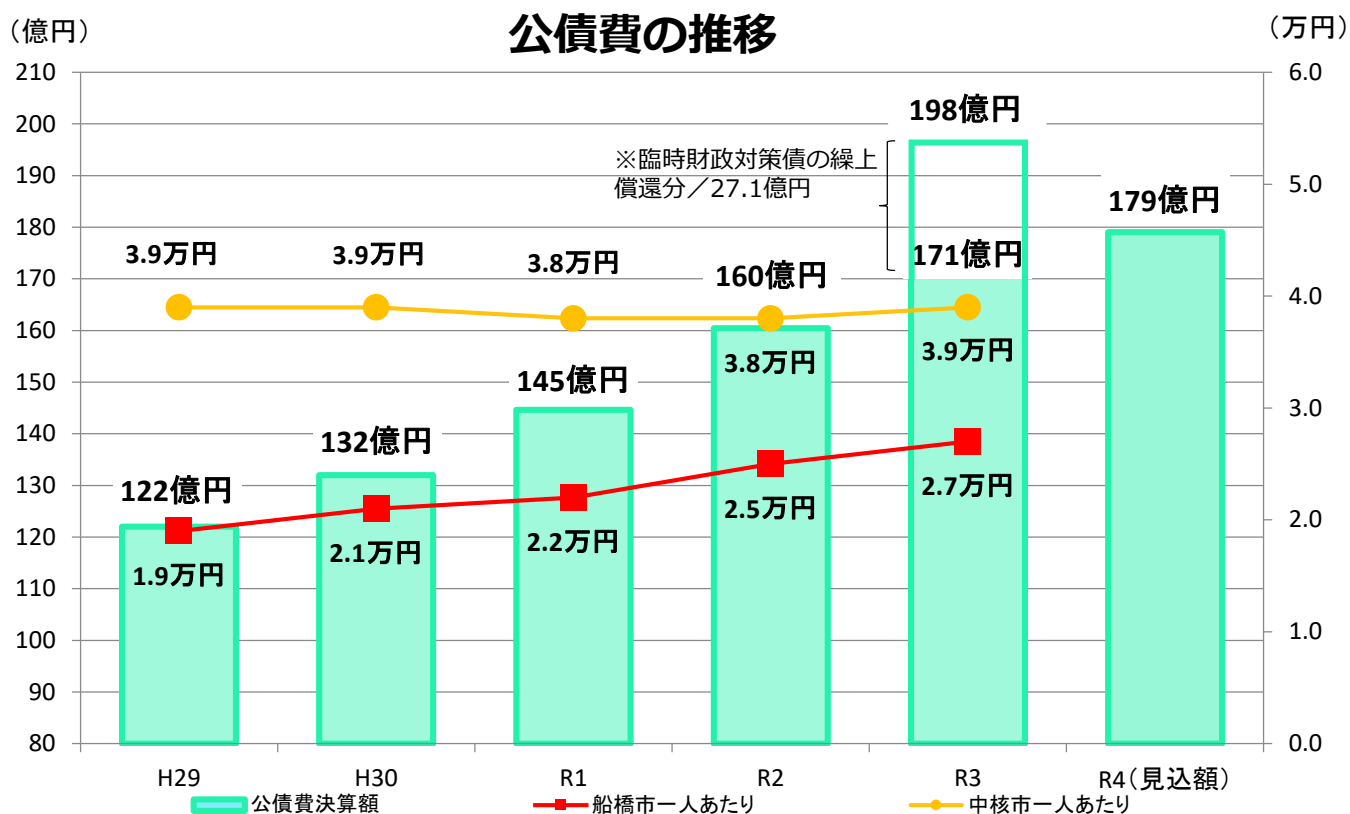
市債残高の推移



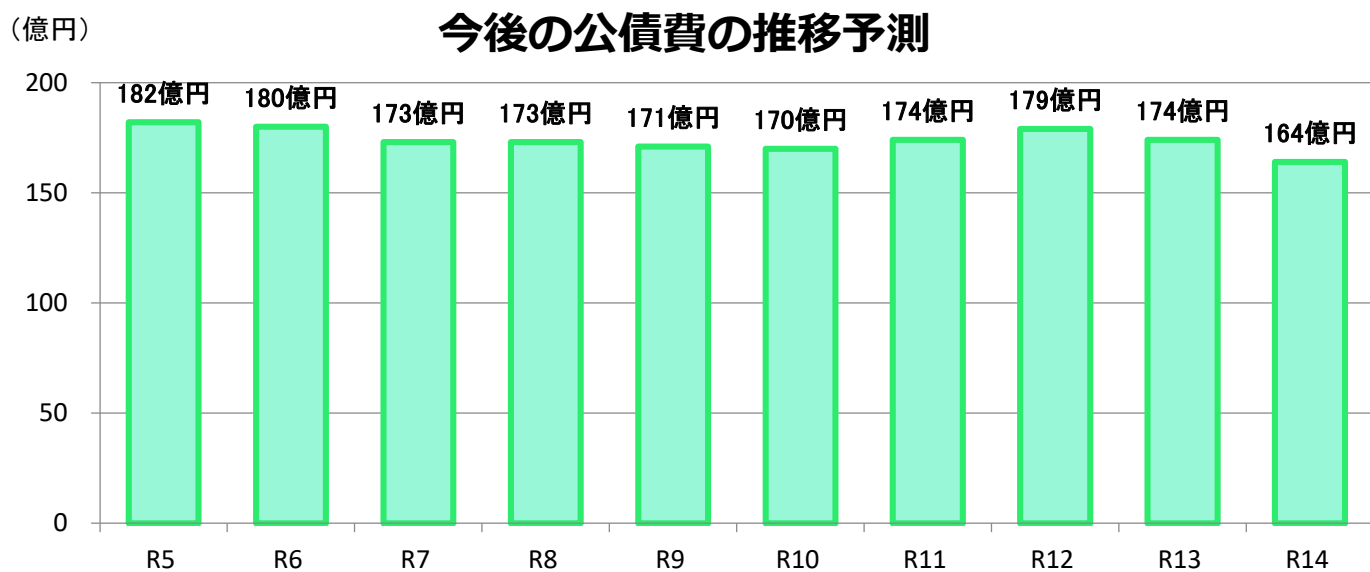
普通会計ってなに？

全国の自治体の予算の作り方をみると、介護サービス事業や区画整理事業などを一般会計で行ったり、特別会計や企業会計で行ったりとバラバラな部分があります。

そこで、自治体間で比較できるようにした統一的な基準となる会計区分を「普通会計」と言います。



※令和3年度の公債費は198億円と急増しましたが、臨時財政対策債の償還費として普通交付税が追加交付され、繰上償還を行ったことによります。実質的には171億円でした。



返済は大丈夫なの？

市債の返済金を「公債費」といい、市税などの一般財源で返済しています。

令和3年度の公債費の決算額（普通会計）は198億円（うち27.1億円は臨時財政対策債の繰上償還分）で、人口1人あたりの金額は30,712円（繰上償還分を除くと26,511円）となります。これは全国の中核市62市（平均38,737円）の中で20番目（繰上償還分を除くと13番目）に少ない額となっています。

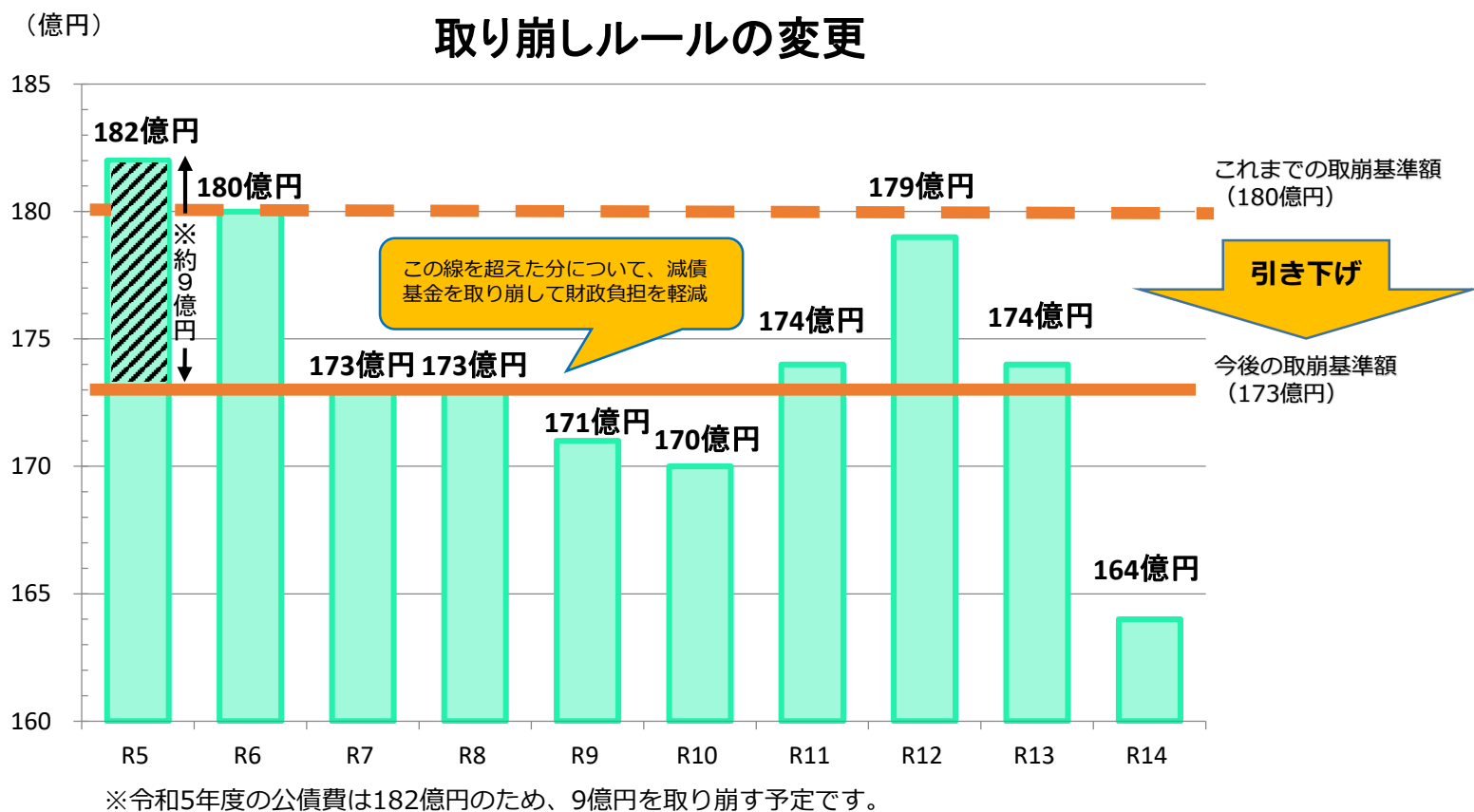
今後も公共施設の老朽化や長寿命化への対応を行う必要があるため、引き続き普通建設事業の優先順位付けを行うことで、将来の公債費の負担が軽くなるように取り組んでいきます。

減債基金の活用

減債基金とは、将来、公債費が増加したときに備え、お金を積み立てておく貯金です。そして、公債費が増加したときに取り崩す（引き出す）ことで、公債費が大きな負担とならないようにします。

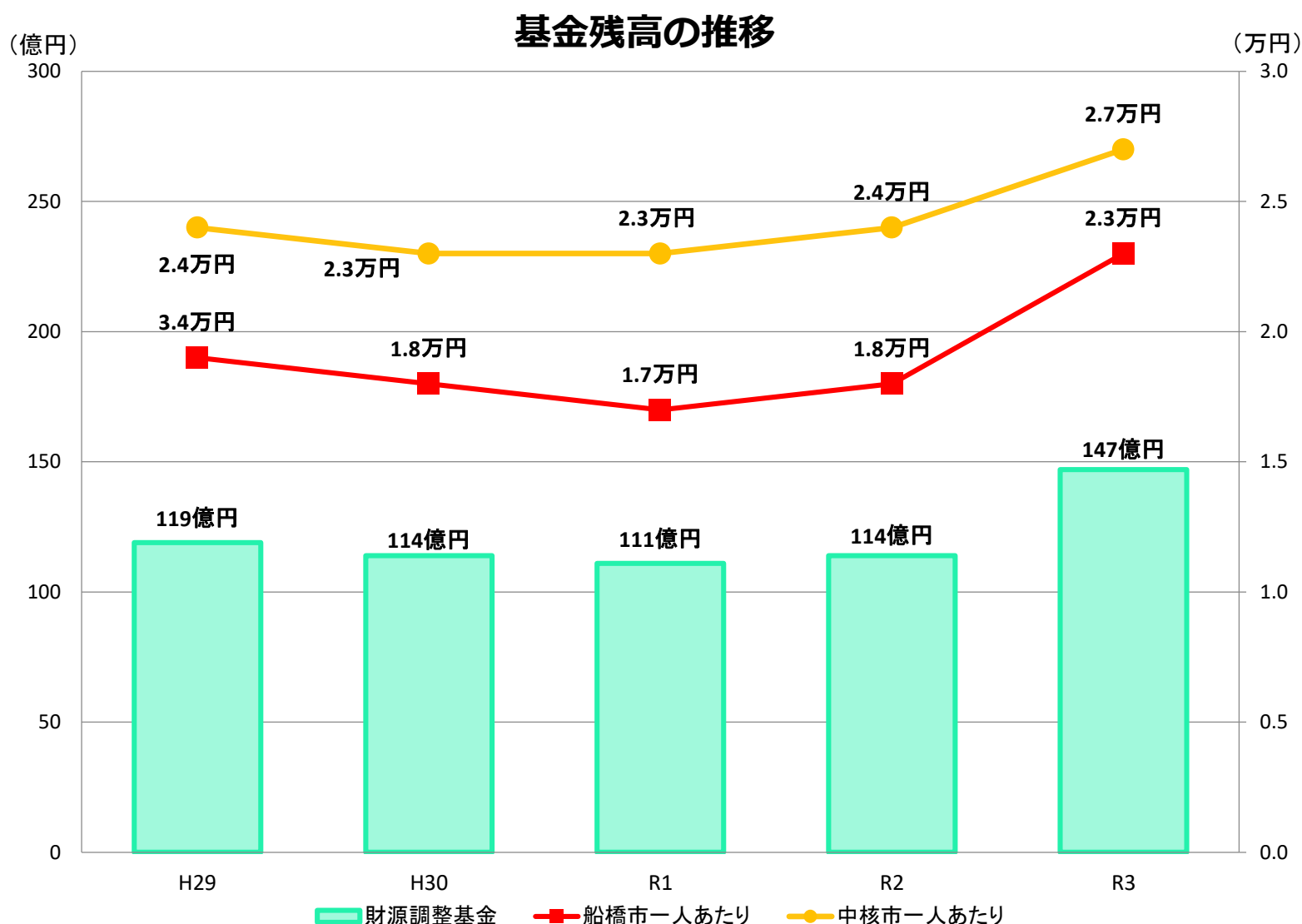
積み立てを開始した当時は、年間の公債費が180億円を超える見込みであったため、取り崩しルールを180億円を超える額とし、令和3年度末までに約48億円を減債基金に積み立てました。しかし、令和元・2年度に実施した行財政改革の中で普通建設事業の見直しを行ったこと等により、今後の公債費はしばらくの間170～180億円で推移し、令和14年度以降は公債費が減少していく見込みとなっております。

そのため、令和5年度予算編成において取り崩しルール変更し、173億円を超える額を取り崩すことにし、減債基金を有効活用することとしました。



貯金はあるの？

市には、急激な収入の落ち込みや、災害復旧などの想定外の支出、また今後見込まれる公共施設の老朽化や少子高齢化社会への対応等に備えるための貯金があります。これを「財源調整基金」と言い、毎年、決算の時に余ったお金（剰余金）等から積み立てています。



財政状況の比較は「中核市同士」で

同じ自治体と言っても、村や町から人口が100万人を超える市まで様々です。自治体により必要とされる行政サービスが異なります。

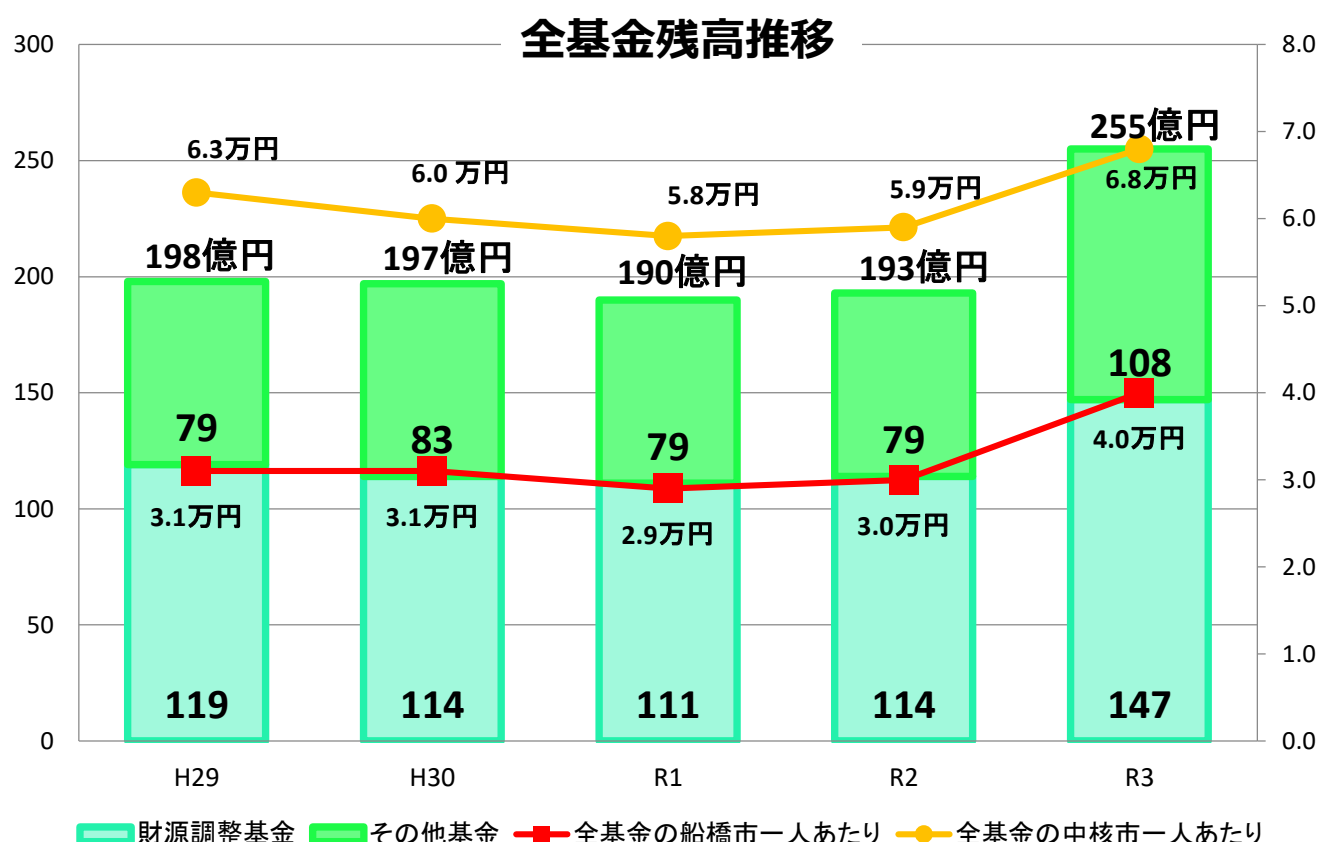
また、政令指定都市や中核市は、都道府県が行う仕事の一部を行っているため、普通の市と比べると行っている仕事や必要となる財源が大きく異なります。そのため、財政状況を他市と比較するときには、船橋市と同じ中核市同士で比較します。

その他の貯金はどのようなものがあるの？

財源調整基金以外にも、特定の目的のために使用する貯金（特定目的基金）や一定額の貯金そのものを原資として貸し付け等の事業を行うための貯金（定額運用基金）があります。

	基金の名称	目的
特定目的	職員退職手当基金	退職手当の財源に充てるため
	減債基金	市債の償還に必要な財源を確保するため
	公園緑地整備基金	公園の整備、緑の保全、緑化の推進を図るため
	福祉基金	地域福祉の増進に資するため
	一般廃棄物処理施設等整備基金	施設の整備に必要な資金を積み立てるため
	文化振興基金	文化の振興に資するため
	森林環境譲与税基金	森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため
	公共施設保全等基金	公共施設の計画的な保全や更新に必要な財源に充てるため
定額運用	高額療養費貸付基金	高額療養費の貸し付けのため
	文化芸術ホール事業基金	自主事業を円滑かつ効率的に行うため

船橋市の貯金額はどれくらい？



中核市で比較すると、市民一人あたりの貯金は少ない方です。

財源調整基金では・・・

船橋市 1人あたり2.3万円
 中核市 1人あたり2.7万円
 船橋市 **42位**／62市中

全基金では・・・

船橋市 1人あたり4.0万円
 中核市 1人あたり6.8万円
 船橋市 **51位**／62市中

特定目的基金の紹介

文化振興基金について

船橋市の文化芸術のために活用して欲しいという寄附をもとに、「文化活動の普及を図る事業を推進し、もって文化の振興に資するため」という目的で平成27年度に設置した基金です。

これまでは、基金の運用益（預金した利子等）のみを活用して文化活動普及事業の財源としてきましたが、基金を有効活用し、より文化振興を図る事業を推進していくため、基金からの取り崩しを行い、事業の財源としていくことといたしました。

基金の使途

1. 「リアル」と「デジタル」の鑑賞機会の拡充

- ◆出張美術展の巡回開催
- ◆資料のデジタル化 など

2. アーティスト活動への支援

- ◆文化活動普及事業の実施校拡大
- ◆アーティストの活動機会の提供 など



「アートでつながるまち ふなばし」
の実現に向けた事業展開

令和4年度末時点の基金残高

4億2329万円



令和5年度 基金活用事業

1. 「リアル」と「デジタル」の鑑賞機会の拡充

- ◆デジタルミュージアム運営事業
市所蔵美術品等をインターネット上で公開する「船橋市デジタルミュージアム」を運営します。
- ◆市所蔵作品活用事業
出張美術展の開催や「船橋市バーチャル美術館」の運営を行います。

2. アーティスト活動への支援

- ◆文化活動普及事業
子どもたちが文化を身近に感じる機会の創出として、小中学校へアーティストを派遣します。

森林環境譲与税基金について

温室効果ガス排出削減目標の達成や、災害防止等を図るための森林整備等に必要な財源を安定的に確保する観点から、平成31年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が制定され、令和元年度より国から森林環境譲与税が交付されています。

船橋市では、この森林環境譲与税を積み立て（貯金）、森林の整備などを実施するときに取り崩す（引き出す）ために、令和元年度から森林環境譲与税基金を設置しています。

基金の使途

森林環境譲与税は「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」でその使途が定められています。

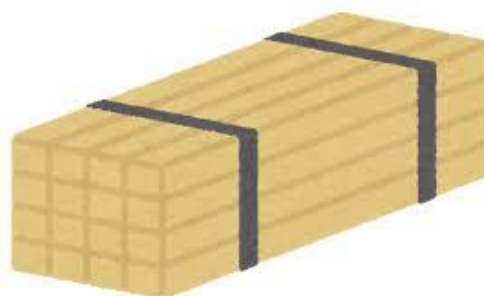
1. 森林の整備に関する施策

◆間伐 など



2. 森林の整備の促進に関する施策

◆人材育成・担い手の確保
◆木材利用の促進や普及啓発 など



令和5年度 基金活用事業

1. 森林の整備に関する施策

- ◆アンデルセン公園整備事業等
ナラ枯れした枯損木の伐採を行います。
- ◆森林整備事業
危険木の伐採等の森林整備を行います。

2. 森林の整備の促進に関する施策

- ◆アンデルセン公園整備事業
木材を利用した施設修繕を行います。
- ◆保育所運営費
公立保育園において木製製品を購入します。

令和５年度予算の主要事業

令和５年度の予算は、今後１０年、２０年、さらにその先の将来を見据えた中で、「人も まちも 輝く 笑顔あふれる 船橋」の実現に向け、子どもの視点に立った支援・教育施策のさらなる充実や、環境問題への対応、都市基盤の整備など、今取り組むべき施策を中心に配分しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策では、ワクチン接種や患者への対応など今後の状況が不透明ですが、ワクチン接種体制の確保や患者に適切な医療を提供するために必要な予算を配分しています。

ここでは、令和５年度予算に計上した主要事業を、自治体ＤＸに向けた取り組みと第３次総合計画（※）基本構想の５つの「めざすまちの姿」ごとにご紹介します。

※第３次総合計画は「基本構想－基本計画－実施計画」で構成され、基本構想及び基本計画の計画期間は令和４年度から令和１３年度までの１０年間となっております。

○自治体ＤＸに向けた取り組み

・保育ＩＣＴシステムの導入（１５６１万円）

保護者の利便性向上及び公立保育園の事務負担軽減のため、登退園や出欠席の管理、連絡帳等をデジタル化する保育ＩＣＴシステムを導入します。

・ハザードマップのデジタル化（２７５万円）

洪水・内水・高潮・津波・土砂災害など各種ハザードマップの災害情報を集約するとともに、迅速に情報更新できるよう、デジタル化したＷｅｂ版ハザードマップを整備します。

○一人一人が自分らしく輝くまち

・大型冷風機の購入（２３７９万円）

夏季の熱中症対策として、小・中・特別支援学校及び市立船橋高校の体育館や武道室等に大型冷風機を設置します。

・海神中学校校舎の建て替え（４３７５万円）

老朽化した海神中学校の普通教室棟の建て替えを同校敷地内で実施します。令和９年度に供用開始するため、令和５年度は敷地測量及び基本設計を行います。

・市立船橋高校ＩＣＴ環境の整備（６２５万円）

ＧＩＧＡスクール構想を実現するため、市立船橋高校に生徒が使用する学習用タブレットを整備します。

・プラネタリウム館投影機及び座席等の更新（２１５万円）

開館から３５年を迎え設備等が老朽化したことから、投影機及び座席等を更新します。

・スポーツ健康都市宣言４０周年記念イベント（３１０万円）

昭和５８年に行った「スポーツ健康都市宣言」４０周年を記念し、子どもから大人までスポーツに触れ合えるイベントを開催します。



○住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまち

・保育支援者の配置に係る費用の一部を補助（１億５２７万円）

保育中の子どもの安全を確保するため、園外活動時の見守りなどを行う保育支援者の配置に係る費用の一部を補助します。

・公立保育園での紙おむつ処分料の無償化

紙おむつの処分に係る保護者の負担軽減や衛生面の不安の解消を図るため、公立保育園での紙おむつ持ち帰りを廃止するとともに、処分料を無償とします。

・ヤングケアラーの支援（４３１万円）

ヤングケアラーといわれる、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもたちを支援につなげるため、子どもたちが相談しやすいＬＩＮＥを使ったＳＮＳ相談を開始するとともに、社会福祉士等のコーディネーターを配置し、関係機関と連携しながら子どもたちに寄り添います。また、ヤングケアラーの周知啓発を図るため、関係機関に対する講習会や研修会を実施します。

・児童相談所の整備（５１１４万円）

児童虐待の未然防止から一時保護等の措置、在宅支援までを切れ目なく一貫して市が行うため、令和８年度の開設に向けて市児童相談所の整備を進めています。令和５年度は、実施設計を完了し、建設工事に着手します。

・再犯防止推進計画の策定（１０２万円）

誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現を目指し、犯罪をした人が再び罪を犯すことなく、地域社会の一員として円滑に社会復帰できるよう、再犯防止推進計画を策定します。

・がん患者の医療用ウィッグ・胸部補整具の購入費を助成（５９２万円）

がん患者の精神的・経済的な負担を軽減し、社会生活を支援することを目的に、治療に伴う外見の変化に対応するための医療用ウィッグ及び胸部補整具の購入費を助成します。

○活力と魅力にあふれ、進化し続けるまち

・海老川上流地区のまちづくり（１４億４４０８万円）

「ふなばしメディカルタウン構想」の実現を目指している海老川上流地区のまちづくりでは、引き続き土地区画整理事業の支援を行うとともに、東葉高速鉄道株式会社が実施する駅施設の設計等に要する費用を負担します。

・医療センターの建て替え（６６億３４２５万円）

救急医療及びがん医療を主体とする高度な急性期医療を提供する船橋地域の中核病院である医療センターは、さらなる機能強化を図るため、建て替えを進めています。令和５年度は、実施設計及び用地取得を行います。

・救急ステーションの建て替え（９９４６万円）

医療センター建て替えに合わせ、ドクターカーを配置している救急ステーションの建て替えを進めています。令和５年度は、実施設計及び用地取得を行います。

・ J R南船橋駅南口市有地の活用（1億3130万円）

J R南船橋駅南口市有地が有する高いポテンシャルを活用し、臨海部の玄関口としてふさわしい拠点形成を含めた魅力的なまちづくりを実現するとともに、にぎわいの創出や回遊性の向上を図るため、引き続き道路工事を行うほか、事業者と連携してまちづくりを進めていきます。

・ 二和東5丁目市有地の活用（2340万円）

国家公務員宿舎二和住宅跡地を含む市有地で、都市機能の充実を図るため、二和向台駅前ロータリーの整備等、土地活用を推進します。令和5年度は、道路予備設計及び国家公務員宿舎二和住宅跡地の建物の解体設計を行います。

〇快適で豊かに暮らせる、人と環境にやさしいまち

・ 省エネ最適化診断の費用を助成（23万円）

環境への取り組み強化のため、市内事業者に対し、専門家が実施する省エネ最適化診断に係る費用を助成します。

・ 都市計画道路の整備（9億1515万円）

道路ネットワークの基幹となる都市計画道路のうち、南本町馬込町線などの用地買収のほか、西船橋駅印内線の踏切道の拡幅及び道路改良工事等を行います。

・ J R津田沼駅北口駅前エレベーターの設置に向けた設計の実施（240万円）

鉄道やバス利用者等の乗り換えの円滑化や安全な移動を確保するため、J R津田沼駅北口のペデストリアンデッキへのエレベーター設置に向けた概略設計を行います。

・ 公園・緑地の整備（3億7462万円）

市民の皆さんが身近な生活の中で豊かな緑を感じられるよう、二和さつき公園の拡張工事、飯山満土地区画整理地内（仮称）1号公園の実施設計及び（仮称）三山8丁目公園等の用地取得を行います。

〇命と暮らしを守る強靱なまち

・ 避難行動要支援者への支援（412万円）

災害時に自力で避難することが難しい避難行動要支援者に対し、実効性の高い避難支援を行えるよう、個別避難計画を順次作成していきます。

・ 消防局庁舎の建て替え（4535万円）

老朽化した消防局庁舎を国家公務員宿舎船橋行田住宅跡地に移転し、建て替えを実施します。令和9年度に供用開始するため、令和5年度は、基本設計及び実施設計を行います。

・ 救急隊の増隊（4705万円）

傷病者を迅速に搬送するため配備している、ドクターカーを含めた16隊の救急隊について、年々増加する救急需要に対応するため、令和6年4月から17隊体制とする準備を進めます。





市では、（公益）千葉県市町村振興協会から「サマージャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボ宝くじ」の収益金の配分を受けています。

宝くじの収益金は、都道府県別の販売実績額などによって配分されるので、購入は、千葉県内の宝くじ売り場で!!



船橋市の財政に関する詳しい情報は、市のホームページでもご覧いただけます。
アドレス <https://www.city.funabashi.lg.jp/>

トップページ



市政・市の紹介



財政（予算・決算）

令和5年4月

発行／船橋市

編集／企画財政部財政課

電話／047-436-2152